

令和5年 秋の全国交通安全運動実施要綱



《実施期間》 令和5年9月21日（木）から9月30日（土）までの10日間

《目的》 広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

《スローガン》 安全をつなげて広げて 事故ゼロへ

- 《運動の重点》
- 1 こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
 - 2 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
 - 3 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
 - 4 各市町交通安全対策協議会等が決定する事項



《統一主要行事》

行事名	実施日	内容
運動初日広報 街頭指導の日	9月21日 (木)	本運動の開始を広報するとともに、街頭における交通指導等を行い、期間中に行われる各種活動への取組意識を高める。
自転車等の交通事故 防止強化の日	9月26日 (火)	自転車・電動キックボード乗車時の頭部保護の重要性とヘルメット着用による被害軽減効果等について広報啓発し、ヘルメットの着用を促進するとともに、正しい交通ルールや安全な利用方法について周知を図る。
交通事故死ゼロ を目指す日	9月30日 (土)	全国一斉に行われる「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせ、正しい交通ルールの遵守と交通マナーの実践を広く県民に呼び掛け、交通安全意識の向上を図る。

静岡県交通安全対策協議会

運動の重点に関する主な推進事項

子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保

- 1 歩行者の交通ルール遵守の徹底
 - (1) 歩行者に対し、横断歩道を渡ること、信号機のあるところでは、その信号に従うこと等の基本的な交通ルールの周知
 - (2) 「しずおか・安全横断3つの柱」(①手を上げる・差し出す、運転者に顔を向けるなどして運転者に対して横断する意図を明確に伝え、②安全を確認してから横断を始め、③横断中も周りに気をつけること)等、歩行者が自らの安全を守るための交通行動を促すための交通安全教育の推進
 - (3) 歩行中幼児・児童の交通事故の特徴(飛び出しによる死者・重傷者が多いなど)等を踏まえた交通安全教育等の推進
 - (4) 安全に道路を通行することについて、日常生活や教育現場における保護者や教育関係者から幼児・児童への教育の推進
 - (5) 高齢歩行者の死亡事故の特徴(65歳未満と比較して横断中が多いなど)を踏まえ、高齢者自身が、加齢に伴って生ずる身体機能の変化(例えば、認知機能の低下、疾患による視野障害等の増加、反射神経の鈍化、筋力の衰えなど)を理解し、安全な交通行動を実践するための交通安全教育等の推進
 - (6) 反射材用品等の視認効果や使用方法等の周知と自発的な着用への促進
- 2 歩行者の安全の確保
 - (1) 通学路、未就学児を中心に子どもが日常的に集団で移動する経路等における見守り活動等の推進
 - (2) 「ゾーン30プラス」の整備を始めとする生活道路対策の推進
 - (3) 通学路交通安全プログラム等に基づく点検や対策の推進

夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶

- 1 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
 - (1) 夕暮れ時と夜間における死亡事故の特徴(日の入り後1時間の横断中歩行者の死亡事故が多いなど)を踏まえた交通安全教育等の推進
 - (2) 自発光式等の反射材用品の着用への促進や自動車・自転車前照灯の早めの点灯、ハイビームの活用など「ピカッと作戦!」の効果的な展開
 - (3) 自動車運送業を始めとする事業者による従業員への夕暮れ時と夜間の運転時の注意喚起
- 2 運転者の歩行者等保護意識の向上
 - (1) 交通ルールの遵守と歩行者や他の車両に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って通行する交通マナーの呼び掛け
 - (2) 横断歩道等に歩行者等がいけないことが明らかな場合を除き、直前で停止可能な速度で進行する義務や横断歩道等における歩行者等優先義務等の遵守による歩行者等保護の徹底
 - (3) 運転者に対し、歩行者等保護の徹底を始め、安全に運転しようとする意識及び態度を向上させるための交通安全教育や広報啓発の推進
 - (4) 運転中のスマートフォン等の使用や注視の危険性についての広報啓発の推進
- 3 飲酒運転の根絶
 - (1) 交通事故被害者等の声を反映した広報啓発活動等のほか、飲食店等における運転者への酒類提供禁止の徹底やハンドルキーパー運動の促進など、地域、職域等における飲酒運転根絶への取組を推進し、「飲酒運転を絶対にしない、させない」という「飲酒運転を許さない社会環境」の醸成
 - (2) 運転者の点呼時等におけるアルコール検知器の使用促進や業務に使用する自動車の使用者等における義務の遵守の徹底
- 4 妨害運転等の防止
 - (1) 妨害運転等の悪質・危険な運転についての広報啓発の推進
 - (2) 「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った運転の必要性、ドライブレコーダーの普及促進等に関する広報啓発の推進
- 5 高齢運転者の交通事故防止
 - (1) 高齢運転者に対する加齢等に伴う身体機能の変化が運転に及ぼす影響等を踏まえた交通安全教育及び広報啓発の推進
 - (2) 衝突被害軽減ブレーキ等の先進安全技術を搭載した安全運転サポート車の普及啓発とサポートカー限定免許制度についての広報啓発の推進
 - (3) 身体機能の変化等により安全運転に不安のある運転者等に対する安全運転相談窓口の積極的な周知及び利用促進並びに運転免許証の自主返納制度及び自主返納者に対する各種支援施策の広報啓発による自主返納の促進

- 6 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
 - (1) 全ての座席におけるシートベルト着用とチャイルドシートの使用義務の周知・指導の徹底及びその必要性・効果に関する理解の促進
 - (2) シートベルトの高さや緩みの調整、チャイルドシートの確実な取付方法やハーネス（肩ベルト）の締付け方等、正しい使用方法についての広報啓発の推進
 - (3) 高速乗合バスや貸切バス等の事業者に対する全ての座席におけるシートベルト着用を徹底させるための指導・広報啓発の推進
- 7 二輪車運転者等に対する広報啓発
 - (1) 二輪車の特性の周知やヘルメットの正しい着用とプロテクターの着用による被害軽減効果に関する広報啓発の推進
 - (2) 若者層のみならず、中高年に対する二輪車安全運転教育・広報啓発の推進

自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

- 1 自転車利用者のヘルメット着用と安全確保
 - (1) 全ての自転車利用者に対するヘルメット着用の必要性・効果に関する理解の促進と努力義務化を踏まえた着用の徹底に向けた広報啓発の推進
 - (2) 夕暮れ時の早めの灯火点灯と反射材用品等の取付け促進による自転車の被視認性の向上
 - (3) 幼児を幼児用座席に乗車させる際のシートベルト着用及び幼児二人同乗用自転車の乗車・降車時における転倒等の具体的な危険性の周知や安全利用に関する広報啓発の推進
 - (4) 自転車利用者の安全を確保するための定期的な点検整備の促進
 - (5) 自転車事故被害者の救済に資するための損害賠償責任保険等への加入促進
- 2 自転車の交通ルール遵守の徹底
 - (1) 「自転車安全利用五則」の活用による車道通行の原則、車道は左側通行、歩道は歩行者優先等の通行方法や自転車通行空間が整備された箇所における通行方法の周知と遵守の徹底
 - (2) 信号の遵守や交差点での一時停止・安全確認のほか、夜間の無灯火走行、飲酒運転、二人乗り、並進の禁止等交通事故防止のための基本的な交通ルールの周知と遵守の徹底
 - (3) 自転車事故抑止対策の推進
自転車による交通事故防止を図るため、「しずおか・自転車事故防止3つの柱+1（プラスワン）」
①：交差点では周りに気をつける ②：一時停止場所では確実に停まる ③：急がずゆっくり走る
「+1プラスワン」（高齢者対象）：アシスト自転車の特性（加速・車重）を理解する）の周知・実践
 - (4) スマートフォン等使用時や傘差し等の片手運転、イヤホン等を使用した運転の危険性の周知と指導の徹底
 - (5) 自転車を用いた配達業務中の交通事故を防止するため、関係事業者等に対する交通安全対策の働き掛けや自転車配達員に対する街頭における指導啓発、飲食店等を通じた配達員への交通ルール遵守の呼び掛け等の推進
- 3 特定小型原動機付自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
 - (1) 特定小型原動機付自転車に関する新たな交通ルールの周知と遵守の徹底及び被害軽減のためのヘルメット着用の徹底
 - (2) 特定小型原動機付自転車の利用者に対する販売事業者等と連携した安全利用についての広報啓発の推進

各市町交通安全対策協議会等が決定する事項

各市町交通安全対策協議会等が策定する年間事故防止重点を中心とした対策の推進